

2026年度 久留米大学後期一般選抜『出題の意図』
医学部医学科

日 程	3 月 16 日	科目名	小論文	問題番号	
「人を助けるとはどういうことか」 本問は、「人を助ける」という一見自明に思える行為について、その意味や限界を深く考察する力を問うことを意図している。医師は病気やけがを抱える人を助ける職業であるが、医療者が一方的に「助けてあげる」という姿勢を持つことが、必ずしも患者にとって望ましいとは限らない。患者自身の意思や価値観を尊重し、その人が何を望んでいるのかを理解したうえで支援することが重要である。また、「助ける」とは問題を直接解決することだけではなく、相手の話を聴くこと、必要な情報を提供すること、困難な状況を共に考えること、本人が自ら選択し行動できるよう支えることなど、さまざまな形が考えられる。 本問では、受験生が「助ける＝善」という単純な図式にとどまらず、援助する側とされる側の関係性、相手の自律性、善意が相手に与える影響などについて多面的に考察できるかを評価する。さらに、医師として患者に向き合う際に必要となる共感性、倫理的判断力、相手の立場を尊重する姿勢について、自分なりの考えを論理的に表現できることを期待している。					